

# 強者の戦略

こんにちは、世界史の北林です。今回も京都大学の問題に取り組んでいただきたいと思います。

## 【京都大学 2022年】

マレー半島南西部に成立したマラッカ王国は15世紀に入ると国際交易の中心地として成長し、東南アジアにおける最大の貿易拠点となった。15世紀から16世紀初頭までのこの王国の歴史について、外部勢力との政治的・経済的関係および周辺地域のイスラーム化に与えた影響に言及しつつ、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

京都大学はこれまで東南アジアだけで300字の論述を出題したことはなかったかと思いますが、もちろん過去問はしっかりやるべきだとは思いますが、やはり幅広く全時代・全地域の学習をしておかなくてはなりません。地図をイメージしながら、問題にチャレンジしてみてください。

世界史 北林